

儀流祭葬

そうぎいりゆうぎ

神奈川 vol.4

良き人生のための
終活
マガジン


定価 1,010 yen

”終活”大特集

人生の終焉を自分で決めて今を生きる



「絵本作家・画家・詩人」
葉祥明の世界

「匠の技切画師」
風祭竜二

輝くパール世代を
元気にさせるメイク術
かづきれいこ

送りたい、送られたい
感動のお葬式

神を敬い、祖先を祀る
鶴岡八幡宮

現代のお墓事情
新しい供養のカタチ
ブラックフォールマル最新事情
旬をいただく精進ごはん

| 終活トピックス 12 | 遺品整理士 | 遺品という絆をつなぐ「遺品整理士」

一般社団法人 遺品整理士認定協会

遺品整理に関する、さまざまな問い合わせにも対応しており、協会のホームページには、推薦企業も掲載されている。

国北海道千歳市柏台南1-3-1 千歳アルカディア・プラザ4F
☎0123-42-0528

<http://www.is-mind.org/>

遺品整理の現場から

～株式会社 加瀬興業・担当者遠藤さんの事例～

平成26年2月、横浜市のSさんからなにやら支離滅裂の電話。「遺品整理の見積依頼なんですか？見積は無料ですからとにかくお話を伺いに行きます」指定の待ち合わせ場所には、初老の女性



Sさんとその娘さんがいらっやいました。人目を避けるように案内されたマンションの一室は、整理された状態で、介護ベッドや車いすがあり、要介護の方がいらした様子でした。そこはSさんの母親、兄と姉の三人暮らしだったとのこと。車でわずかな距離にいながら、疎遠になり、30年以上も音信不通だったとSさんの重い口が少しずつ開き始めました。その年の年明け早々、母親が亡くなり、介護疲れしていた兄と姉で相続手続きの準備や遺品整理をしている最中、兄が持病で倒れ、さらに複雑になった相続や遺品整理に悩まれ、疲労困憊状態の姉が自ら命を断たれてしまったとのこと。警察などの調査や手続きを終え、何から手をつけたらよいかわからず遺品整理業者へ電話した、といった流れでした。

見積をしながら今後の流れや各種手続きについて必要書類などを図解にしてご説明し、長時間にわたるヒアリングを終えると、いつの間にか日付が変わっていました。「今日はようやく寝れそうです」Sさんと娘さんは鬼気迫る雰囲気はなくなり、少し安堵されたようでした。翌日、見積書をお持ちし、そのままご依頼をいただきました。必要書類だけでも早めに見つけてほしいとのご要望に応え、その夜から書類関係に絞った遺品整理を開始。故人が各々書類をしまっていたため片づけながらの作業は連日深夜になりましたがなんとか必要な書類を見つけだすとSさんもひと安心。しかし、ここからが本番。各種保険の手続き、お墓の名義変更、除籍謄本、金融機関通帳と連絡先一覧、不動産契約書や権利書、領収書、相続人リストを準備し、Sさんの知人の司法書士に連絡して現状用意できる必要書類をお渡しするよう段取りを済ませました。翌日、本格的な遺品整理は多めに人数を投入して、午後にはご供養、御招魂抜きを滞りなく済ませました。Sさんはすっきり片付いた室内を見渡し、「私も一人でやってたら逃げたくなるね。姉と同じことをしていたかも」また、娘さんも「やっぱりプロにお任せして良かった。本当に助かりました」Sさん親子から何度もお礼の言葉をいただき、最後は、お二人の笑顔を見ることができました。

遺品整理を通してご遺族の不安や精神的疲労を少しでも和らげることができると志し、家具一点からの回収でもお客様の笑顔が見れるよう日々勉強、努力しています。親族との付き合いが希薄な現代社会、地域に根付く遺品整理業者として孤独死問題や相続放棄、この度のようなケースにどこまで対応できるかが今後の課題になりそうです。

株式会社 加瀬興業

国神奈川県横浜市都筑区早瀬3-32-11
メックビル都筑 ☎045-595-2237
<http://www.kase.co.jp>

遺品整理業界の健全化をはかる目的で設立

遺品整理業界の健全化と人材育成を目的に、平成23年に「遺品整理士」という民間の認定資格を制定した。この資格は、廃棄物

やリサイクル品の取り扱いに関する、法規制だけでなく、遺品整理のサービス提供に関する知識や、取り扱い手順、現場での作業手順などを正しく身に付け、資格認定者に、誠意ある遺品整理

サービスを心がけ、それを実践してもらうことを目的としている。現在では、遺品整理士の資格受講者は1万人、資格取得者は6千人を超え、全国各地で、質の高い遺品整理サービスの提供に務めている。

遺品整理業者選びのポイント

【見積比較をする】

整理する遺品の品数や、遺品が遺されている部屋の広さ、対応人数によって費用が変わる。また依

【スタッフ対応の確認】

「遺品と故人への敬意」がメインテーマ。スタッフの一人ひとりが、遺品と故人に対し、敬意と感謝の気持ちを込めて、遺品と向き

頼者が遺品整理を「どのような進めたいか？」によっても費用は異なってくる。遺品整理の現場へ実際に訪問し、無料見積を行ってくれる業者が多いので、まずは複数の業者に見積を依頼し、時間をかけて比較・検討することがおすすめ。

あい、サービスに取り組んでい

るかが大切。社員研修などで、徹底した教育指導が行なわれていることが望ましい。実績のある業者は、ホームページなどで利用したお客様の感想や体験談を具体的に紹介しているの

で参考になる。他にも新聞や雑誌などに紹介される遺品整理の事例記事もチェックしておく。業者スタッフが「遺品整理士」資格を取得していることも重要なポイントとなる。